

障がい者スポーツ

それぞれの目標に向かって進む

障がいへの理解を深める 障害者週間 12/3〜9

12月3日から9日までは、「障害者週間」です。障がいのある人もない人も、共に支えあって暮らすためには、市民一人ひとりが障がいについて正しく理解することが大切です。

今回の特集では、障がい者スポーツを取り上げます。

市は、2020年東京オリンピック・パラリンピックをめざす競技者を「応援アスリート」として認定するなど、彼らのがんばりを応援していきます。

そこで今回は、周囲に支えられながら全国や世界で活躍する、地元のアスリートを紹介しします。

分かり合えたから、今がんばれる。

普段は少しシャイな女の子が、ゴーグルをつけると表情が一変。小さな体から力強い水しぶきを上げ、飛ぶように進んでいく。今年、大垣市少年スポーツ賞を受賞した服部綾香さんだ。

服部さんは、3つ上のお姉さんの影響で、5歳のときに水泳を始めた。「25m泳げるようになれば」という当時の目



東京オリンピック・パラリンピック応援アスリート認定式
前列の右から3番目が服部選手、2番目が三好選手(8月7日撮影)



仲間といると笑顔があふれる服部さん(左)

標は、今では「世界大会に出る」にまでふくらんだ。

◆先生・友達との出会いで成長

恩師の山内先生に出会ったのは小学4年生の時。服部さんの個性に合わせた指導と、大会に出場したことをきっかけに、彼女の力は急激に伸びていった。

「仲間と練習するのが楽しい。きつい練習もがんばれる」と服部さん。互いのことを理解し合える友ができたことで、厳しい練習も乗り越え、大きく成長していった。今では、常に自己のベストタイムを出していかなければならないプレッシャーの中、自分の限界を超えていくことに喜びを感じている。

◆照れくさいけど、見てほしい

「ライバルに負けるとダメ出ししてくるお母さん。でも美味しいごはんを作ってくれるし、毎日送り迎えもしてくれる」と照れくさそうに感謝の言葉を語る服部さん。そんな彼女は、好成績を出してもみんなに注目されるのは苦手だという。しかし、「世界大会やパラリンピックに出られたら、みんなに見てほしいな」と、控えめにはにかんだ。



はっとり あやか 服部綾香さん(15歳) / 知的障がい

撮影場所：岐阜県福祉友愛プール

興文中学校3年、(公社)すくすく岐阜所属

市が、第27回大垣市少年スポーツ賞を授与、2020年東京オリンピック・パラリンピックの「応援アスリート」に認定

入賞歴

- ・第21回日本知的障害者選手権水泳競技大会 200m自由形3位、100m自由形4位
- ・2018ジャパンパラ水泳競技大会 100m自由形8位、200m自由形7位
- ・第18回全国障害者スポーツ大会 50mバタフライ1位、25m平泳ぎ1位、200mリレー1位
- ・第21回日本知的障害者選手権(25m)水泳競技大会 200m個人メドレー3位、50m平泳ぎ1位

Supporter's Voice



(公社)すくすく岐阜 山内裕美子先生

水泳の記録はもちろんですが、きつい練習など大変なことを努力して乗り越えたという経験をさせてあげたい。それがきっと、社会に出たときに彼女の心の支えになるから。

私たちは、つつい障がい者をひとまとめにしてしまいがち。でも、彼女たちはみんな違います。それぞれ良いところを持っています。ぜひ、そこを見てあげてほしいです。

見逃さないで 障がい者虐待

障がいのある人へのサポートのほかにも、私たちが日ごろから気を付けなければならないのが“障がい者虐待”。障害者虐待防止法には、「何人も障害者に対し、虐待をしてはならない」と明記され、虐待に気付いた人の通報義務が法律に定められています。

市は、障がい福祉課内に障がい者虐待防止センターを設置し、虐待の防止と早期発見、

家族などへの支援に努めています。

虐待に気づいたときは同センター(☎73-0202)へご連絡ください。

虐待になる例

- 身体的虐待 (殴る蹴るなど)
- 心理的虐待 (ののしりや無視など)
- 性的虐待 (性的ないやがらせなど)
- 放棄・放任 (介助をしないなど)
- 経済的虐待 (財産を取り上げるなど)

災害時障がい者支援用バンダナ

市は、災害時に障がい者が支援を受けやすくするため、災害時支援用のバンダナを作成しました。

希望する人には、障がい福祉課窓口で無料配布しています。

詳しくは、同課(☎47-7298)へ。



障がいの区分に応じてご利用ください

- 黄色いバンダナの四隅には、右の4種類の言葉を記載。折り畳んで、利用できます。
- 目が見えません
- 耳が聞こえません
- 障がいがあります
- 医療ケアが必要です